

牛久：学校周辺に見る自然

第12号 牛久二小

2020年4月25日発行

＜ 春の校庭 ～⑦その他の雑草ざっそう その2 ＞

皆さん、こんにちは。牛久二小の春の校庭「雑草とそこに来る虫たち」、今回はその他の雑草ざっそうから、あまり他の学校の校庭では見られないかなと思ったものを簡単に紹介しょうかいします。



ムラサキケマン(左上)とハナニラ(左中)、ネズミノオゴケ(左下)、ヘビイチゴ(右上)、モウソウチクの竹の子(右下)。

ムラサキケマンはケシ科か なかまの仲間なかまで、やや湿しめったところはに生はえます。全体有毒ゆうどくなので、要注ようちゆう意。ハナニラ

ラはヒガンバナ科かで、葉はをもむとニラにの匂においがします。ネズミノオゴケはコケ植物はのなかまなかまで、ネズミの尻尾しっぽに似た形かたちです。これまで観察したたくさんの校庭がうていの中で、このコケはが生はえていたのは二小にせうだけです。ヘビイチゴはバラ科かで、もうすぐ赤い実みができます。無毒むどくですが、食くべておいしいというものでもありません。モウソウチクの竹の子とたり ちくりんは、隣となりの竹林ちくりんからのものでしょう。【理科支援員：宮内】